

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	地域との付き合い・交流が限定されていた点。地域資源を見直しコロナ禍であっても、入所者様が地域と繋がった暮らしができるようにしていく必要がある。	地域、近隣住民との付き合い・交流を拡大し、入所者様が地域といつまでも繋がった暮らしを送ることができる。	地域の文化祭などの地域交流の場にて展示物出品や施設紹介のチラシ等を配布することで、施設の状況・情報を発信し交流を図る。	12ヶ月
2	35	毎月避難訓練を実施し、迅速に対応できるように努めているが、夜間など職員が少ない時間帯に発生した災害における地域との具体的な協力体制が整っていない。	夜間など職員が少ない時間帯に災害が発生した場合に、地域が入所者の避難や見守り活動に協力して頂く体制作り。	町内会長、八木田町内会自主防災部会/避難誘導部と面談し協力を依頼する。その際、避難に協力して下さった住民の方が入所者と共に当法人の病院に避難できることなど医療法人として貢献できる点も説明する。	6ヶ月
3	6	危機管理委員会が機能していない。実質的に危機管理委員長が一人で活動している状態で危機管理の脆弱性がある。	危機を未然に防止するよう努めるとともに、万が一危機が発生した場合には、入所者の安心や安全を確保した上で、迅速かつ的確な対応をとることができる。	①危機管理委員の再編成と業務内容の分担化 ②危機管理マニュアルの再整備 ③職員研修実施内容についての記録と保管の徹底 ④BCP策定に向けた研修等への参加	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。